

一般社団法人日本行動分析学会 2023 年度事業報告

総務委員会

1. ホームページの管理・運営
 - ・学会ホームページの管理・運営を行った。また、「学会の概要」を一部改変し、各種資料へのアクセスを改善した。
2. 会員メール配信システムの運用
 - ・2018 年度に開始したメール配信システムを運用した。
3. 理事会クラウドストレージの検討
 - ・理事会クラウドストレージについて検討した。
4. 1~3 を含んだ統合的なシステムの導入の検討
 - ・統合的な会員管理システムについて検討した（継続）。
5. 学会業務運営（理事会、総会等）
 - ・定例理事会（7 回）および臨時理事会（1 回）と社員総会（1 回）を開催した。
6. 日本行動分析学会 Diversity Policy の作成に関する検討
 - ・法務委員会と協力して Diversity Policy（案）を作成し、運用のためにハラスメント防止規程の策定作業を行った（継続）。
7. パンフレットのリニューアル
 - ・学会パンフレットをリニューアルし、若手研究者優秀発表賞等の新たな情報を追加した。

法務委員会

1. 定款、細則等の規則の整備
 - ・総務委員会と協力して、ダイバーシティー・ポリシー、ハラスメント・ポリシー及びハラスメント対応マニュアルの作成に取り組んだ。
2. 倫理委員会
 - ・新メンバーによる倫理委員会を立ち上げた。
3. 選挙管理委員会
 - ・社員総会（2023 年 6 月 3 日）において役員（理事・監事）選挙を、新理事会において理事長選挙を実施した。

財務委員会

1. 収支予算（案）および決算（案）の作成を行った。
2. 学会の財務状況の点検、並びに必要な改善を検討した。
3. 「研究会開催助成事業」および「自主公開講座助成事業」を行った。
2023 年度は自主公開講座に関して 3 件助成を行った。

渉外委員会

1. ABAI の支部としての活動
 - ・J-ABA 事業報告／事業計画書（2023 年度分）を提出した。

- ・ ABAI Affiliate Chapters Board が開催するオンライン会議に参加した。
- 2. 2023 年 5 月に開催された ABAI 年次大会の ABAI Expo で、J-ABA の活動を紹介するポスターを展示した。
- 3. 日本在住学生会員 ABAI/SQAB 参加助成事業について、予算の見直しについて財務委員会と協議した後、2024 年度の助成事業の募集をメーリングリストで通知した(2024 年 3 月 31 日締切)。
- 4. J-ABA ニュースを年 4 回発行した。
- 5. 若手研究者優秀発表賞について、その運営を日本行動分析学会若手会と共同で行った。また同会と協議する形で本賞の見直しを検討した。
- 6. 日本行動分析学会若手会の活動を援助した。
- 7. 日本行動分析学会若手会の要望を受ける形で、学生研究者による大会発表の助成制度新設について検討した。

企画委員会

1. 年次大会支援事業

- ・ 2023 年度年次大会(立命館大学:中鹿直樹委員長)の支援および、学会企画シンポジウム「強度行動障害に対して応用行動分析学は何ができるのか」を実施した。
- ・ 2024 年度年次大会(駒澤大学:久保尚也委員長)の開催に関して、大会委員長と連絡調整を行った。
- ・ 2025 年度以降の学会開催の研修会(オンライン)および年次大会実施方法(開催地を含む)を検討した。

2. 研究教育推進事業

- ・ 年次大会以外での研究会・シンポジウム等の募集と実施については以下の通りである。①「強度行動障害に関する支援ガイドライン」の理解促進のために(オンデマンド配信)、②ニューロダイバーシティ(ND)と応用行動分析(ABA)のダイアローグ:その建設的な未来(2023 年 12 月 26 日:オンライン研修会)
- ・ 学会賞(実践賞)の候補者の募集および選考作業を行った。
- ・ 春(冬)の学校の開催について検討したが、本年度は実施しないこととした。

編集委員会

1. 機関誌『行動分析学研究』の発行

- ・ 第 37 巻 2 号を 2023 年 4 月 20 日、第 38 巻 1 号を 2023 年 9 月 5 日に、同 2 号を 2024 年 2 月発行に発行した。

2. 出版企画

- ・ 『ことばと行動』の新装版を 2023 年 9 月 15 日に発行(復刊)した。

上記委員会以外の事業報告

1. 学会創立 40 年記念事業実行委員会

- ・ 創立 40 年記念行事として、大会で記念シンポジウムを行うとともに、横浜学術集会を開催した。
- ・ 40 年記念事象で開催したシンポジウムをアーカイブ化し、公開した。
- ・ 行動分析学会研究アンソロジー 2023 年版を公開した。

2. 事典編纂委員会

- ・事典編纂委員会において、『行動分析学事典』の改訂の準備を開始した。